

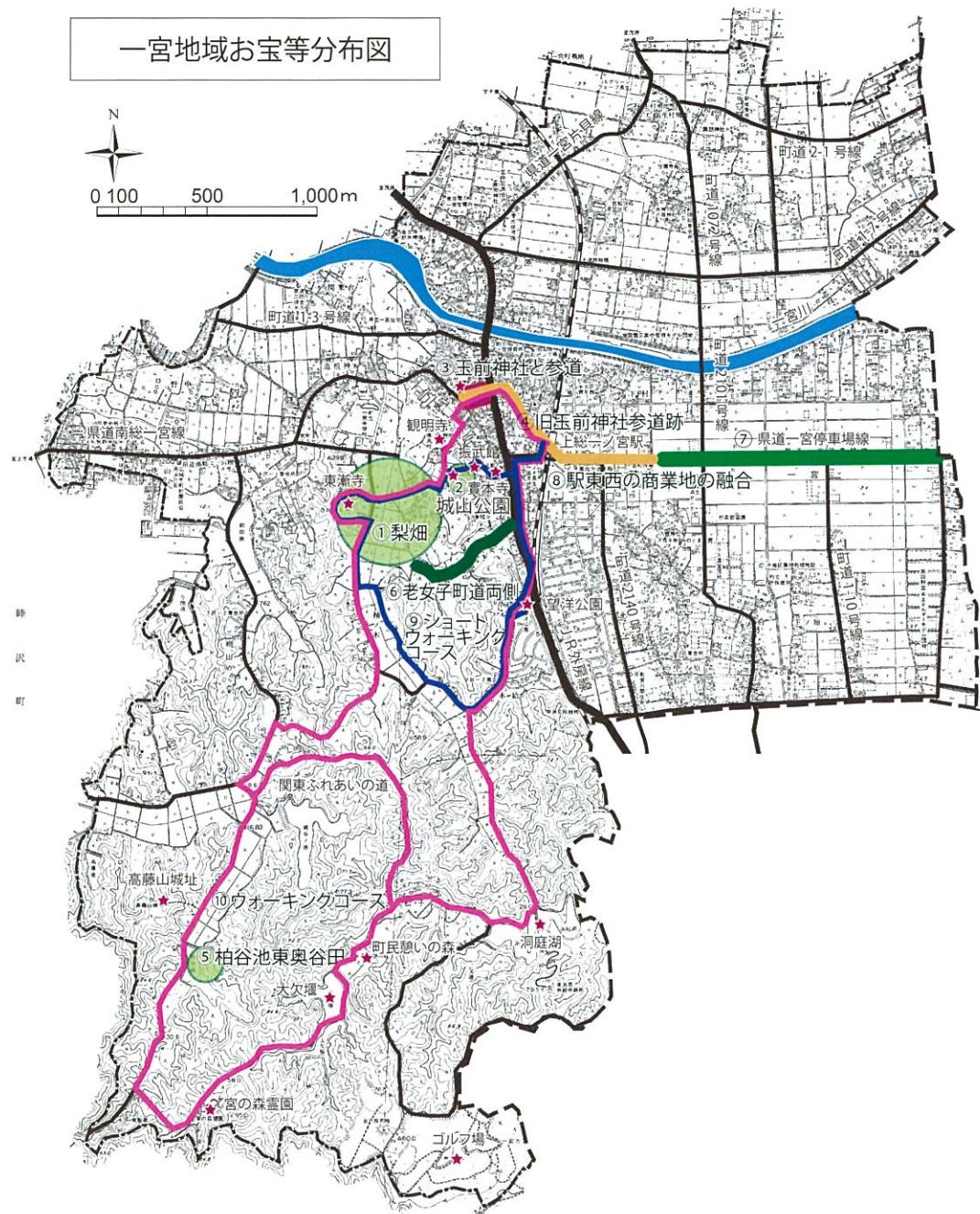
資料4：一宮町都市計画マスタープラン地域別懇談会結果のまとめ

《地域別お宝》

一宮地域

図面番号	名称	選定理由等
①	駅より山側	・農業振興地域でもあり、町中とは違った自然と産業でもある梨畑が広がっております。この地域はこれ以上開発などはせず、十分に農業ができるように守っていただきたい。
②	振武館の桜 城山公園	・花見の時期には、桜並木が広がり、隠れスポットとしても話題になっている。 ・振武館に通じる立派な大手門そこからの眺め、特に春の桜は見事だ。これ以上住宅が建たないように勝手な願いをしている。
③	玉前神社 玉前神社、十二社祭り 玉前神社参道（「かねきち」「角八」店舗等）	・地域を守る聖なる場所。地域外からも注目されている。参道の工夫 ・パワースポットとして注目されている所（玉前神社から発して富士山を経由して出雲大社に至るというレイラインがあり、その起点に玉前神社がなっているという）。そのような魅力を発信してもっと人が集まるようにしてほしい。 ・伝統とイベントを併せたプラン（伝統を損なわないで特色的ある祭りを作る）を実現したい。（企画会社と神社・町民との協同企画により） ・玉前神社の背景としてふさわしく、今後この様な店舗が並べば参道としてのイメージがアップし、観光的構成要素が創出される。 ・街並みの活性化、特化した商店街の町づくり ・現在参道に残っている店舗は、自分の所で作って自分の所で売る店が残っている。参道に特化した形でそのような商店をつくって再活性化を図っていきたい。 ・蔵等を活用して、ちょっと一息できる場所がほしい。
④		・旧玉前神社参道跡を示す石碑があるが、それを地図上に位置を示してもらえるとよい。
⑤	御堂谷の柏谷池東側奥地の谷田（ヤツダ）（個人所有地）	・人家も電柱も見えない森に囲まれた日本の谷田の原風景が残っているエリア。ホタル・カエル・トウキョウサンショウウオ・メダカ・タニシ等が生息。
⑥	老女子町道両側	・7年前にここに越して来た理由に、不動産屋さんから「ここは一宮の北鎌倉」と言われ、人に言うと笑われますが、春の「さくら」秋の「もみじ」は見応えがあり、残してほしい。
⑦	駅から海に向かう県道一宮停車場線 役場から海へと続く県道沿いに広がる田園や温室風景	・一直線になっていて、海に向かう期待感が持て、魅力的な道である。 ・電車で来る人達に対応して、レンタサイクルや途中に休める広い場所等があるとよい。また、もっと魅力的な道にしてもらえるとよい。
⑧	J R上総一ノ宮駅を中心とした西側の古い街並みの商店街と東側の新しい街並みの商業地の融合	・都心部の友人等やサーファーの友人等に一宮の景観を聞くと、真っ先に海と田園、温室（農業）と答えるから、基幹産業である農業をもう一つの基幹産業である観光とコラボレーション（観光農園等で）させてていきたい。 ・J R上総一ノ宮駅の西側には、玉前神社周辺に古い街並みが残り、東側には新しい商業地が沿道を中心に形成されつつある。 ・神門踏切が歩行者等にとって危険であり、東側にロータリーはあるが改札がないので、東側に改札の開設をお願いしたい。
⑨	駅～寅本寺～加納廟～振武館～大手門～東漸寺～望洋公園～駅のショートウォーキングコース	・回遊コースが必要（一つひとつは大規模のものはないが、いくつかつなぎ合せて廻れるようにするのがよいと思う。） ・駅からほぼ1時間で回遊できるお手軽に里山と街、View Course 天気がよければ太平洋も見渡せる。 ・東漸寺の天井、欄間等がよい。 ・トイレや案内板の充実をしてほしい。 ・観光には、多少投資も必要な。また、残すべきものは残す、新しく来る人のためになるものは新しくつくることを是非お願いしたい。
⑩	駅～玉前神社～親明寺～東漸寺～袖の木トンネル～奥谷～高藤山～宮の森墨園～大久保～町民憩いの森～松子川歩道～洞庭湖～望洋公園～駅のウォーキングコース	・駅から1日がかりで一宮の古寺社、里山を堪能できるコース（状況によってはショートカットも可）
-	食事場所、直売所	・直売場等を活かして、移住してきた同志や地元の人達の交流できる場がほしい。道の駅などができたらよい
その他意見		
-		・新たな町づくりはとても大切だとは思いますが、新しい事を取り入れるだけでなく、元ある産業と伝統は必ず守る形が望ましい。また、新住民の意見と地元の意見をうまく共存できるようにしたい。

一宮地域お宝等分布図



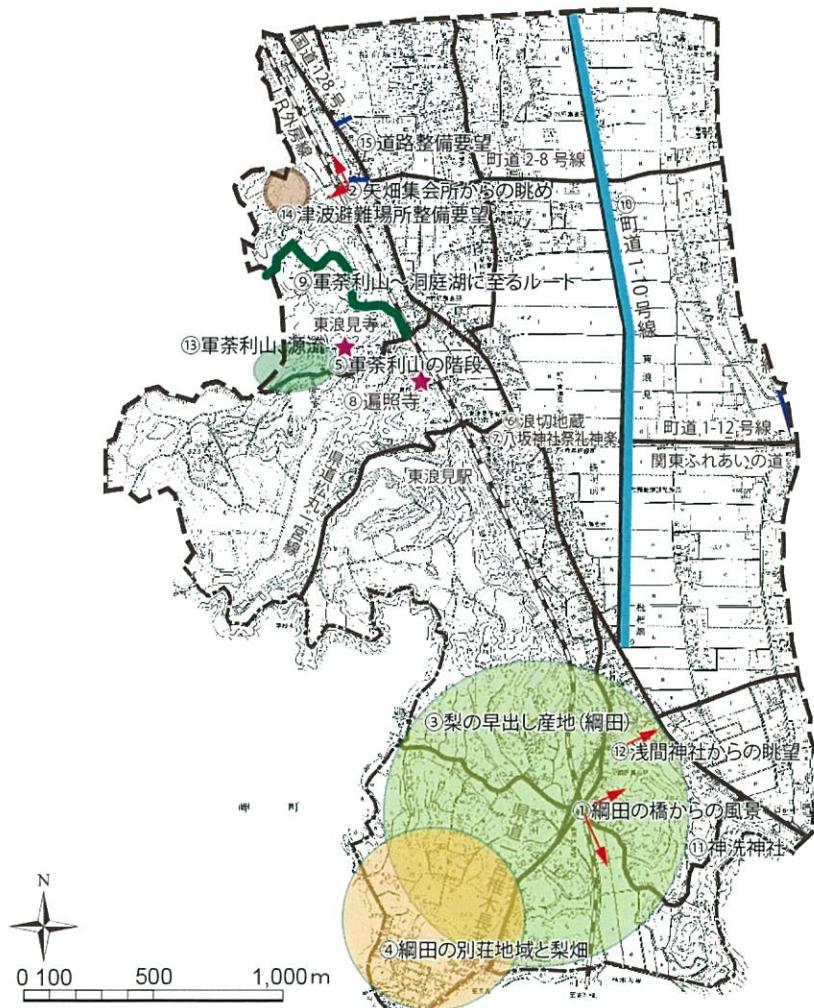
東浪見地域

図面番号	名称	選定理由等
①	綱田の橋からの風景、及び綱田の里山	・綱田の橋から広がる里山の風景は、春には梨の花、初夏にはあざやかな緑の稻穂が広がります。 ・橋から線路が見え鉄道ファンの絶好の撮影ポイントとなっている。（めずらしい電車や機関車等が通る時に多くのファンが集まる。普段でも来る人がいる。）
②	矢畠集会所から山側の眺め	・上記と同様に、鉄道ファンが多く集まる。
③	梨の早出し産地（綱田地区）	・千葉県は日本一の梨の産地、そして当地区は県内一の早出し産地。そして幸水日本一の単価である。このことをPRして欲しいし、子供たちにも知ってもらいたい。
④	綱田の別荘地域と梨畠	・梨園に囲まれた物静かで心落ち着く場所である。
⑤	軍荼利山の階段	・雰囲気がよい。（寒い時期がきれい）展望もよい。
⑥	浪切地蔵	・昔津波が来た所として後世に残さなければならないと思います。
⑦	天王様（八坂神社）・秋祭り（南宮神社）祭礼神楽の普及	・祭礼用神楽（笛・太鼓）は、東浪見の各部落で実施しているが、高齢化により衰退ぎみである。昨年東浪見子ども神楽奉仕団を結成し、子供達に伝え、天王様、秋祭りに神輿を迎える神楽を奉納した。また、靖国神社と護國神社に神樂を奉納した。神楽の普及を拡大して子供から高齢者までコミュニケーションをはかっていきたい。
⑧	遍照寺	・東浪見地区の菩提寺で、境内には商売繁盛の神様「恵比寿様」、樹齢500年の「御神木」、200本の桜等四季折々の草花が観賞できます。上にあがると太平洋を一望でき、初日の出を拝むには最高の場所です。詩人の白鳥省吾が戦中から戦後にかけ居住していた。景観がすばらしく、まちのシンボルになる。
⑨	軍荼利山～洞庭湖に至るルート	・山桜、ソメイヨシノ、梨の花、藤がきれいで、ウォーキングの場所としてよい。
⑩	町道1-10号線	・きれいな歩道ができた。夜青い光が灯る。
⑪	神洗神社	・玉前神社の元宮といわれる。井戸がある。
⑫	浅間神社からの眺望	・海の展望がよい。
⑬	軍荼利山、源流	・軍荼利山の関東ふれあいの道を登っていくと、ゴルフ場の反対側に源流があり、その山で昔はゼンマイとかワラビを取りに行ったりしたが、今は荒れてしまっている。きれいにいれば人が出てくるが、荒れてしまうと散歩する人もいなくなる。山の保全と管理が必要だ。
—	9月13日の祭り	・一宮町全体のことだが、この先ずっと続いていいようにしたい。
—	海岸	・ゼンナやハツタケ等が採れる。これらを使って、一年中家族連れが来れるようにならないか。

その他意見

⑭	津波避難場所として矢畠地区の屋敷跡地（1ha程度）の活用要望	・津波10m以上の避難場所として最適。昨年度矢畠・稻荷塚・原区長連名で要望書を提出。町道の整備と私有地の借り上げ検討要望。
⑮	津波避難路として東西方向の道路整備の充実	・矢畠集会所への国道128号からの入り口道路及び東浪見4867-2地先の国道128号への道路が狭く、消防自動車等が通れない。緊急輸送道路として拡張検討を要望。
—	自主防災組織の設立	・自分達の地域は、自分達で守り（隣近所との助け合いにより糸を深める）1人の犠牲者を出さないまちづくりを行う。 ・大津波等により、甚大な被害が発生しないよう、防災行政無線、自主防災組織が中心となり、安全な場所へ避難できるように行政と協働で推進する。
—	要援護者台帳（災害弱者対応）と災害福祉マップの作成	・災害時に支援が必要となる方を把握し、台帳を作成、情報の共有化を図る。災害発生時は地区対策本部に台帳を持ち寄り区民員等と連携を図り、要援護者を支援する。 ・災害福祉マップは、災害時一人も見逃さない取り組みとして、図面に要援護者・高齢者・井戸協力者（ガチャポン、つるべ式、発電機）避難場所、消火栓場所等を記入し災害時活用する。
—	特別介護支援施設	・町には1箇所しかないが、地域にも1箇所あってよい。特養施設の充実をお願いしたい。
—	学校支援ボランティアグループの普及拡大	・東浪見小の児童は、125名程度でこじんまりとしており、まとまりやすいし、地域の協力を得やすいので、今後も普及拡大をお願いしたい。
—	高齢化対応	・綱田地区は高齢化率が40%を超える。草刈りは皆でやる、自分達の所は自分達できれいにするという意識づくりが大事である。

東浪見地域お宝等分布図



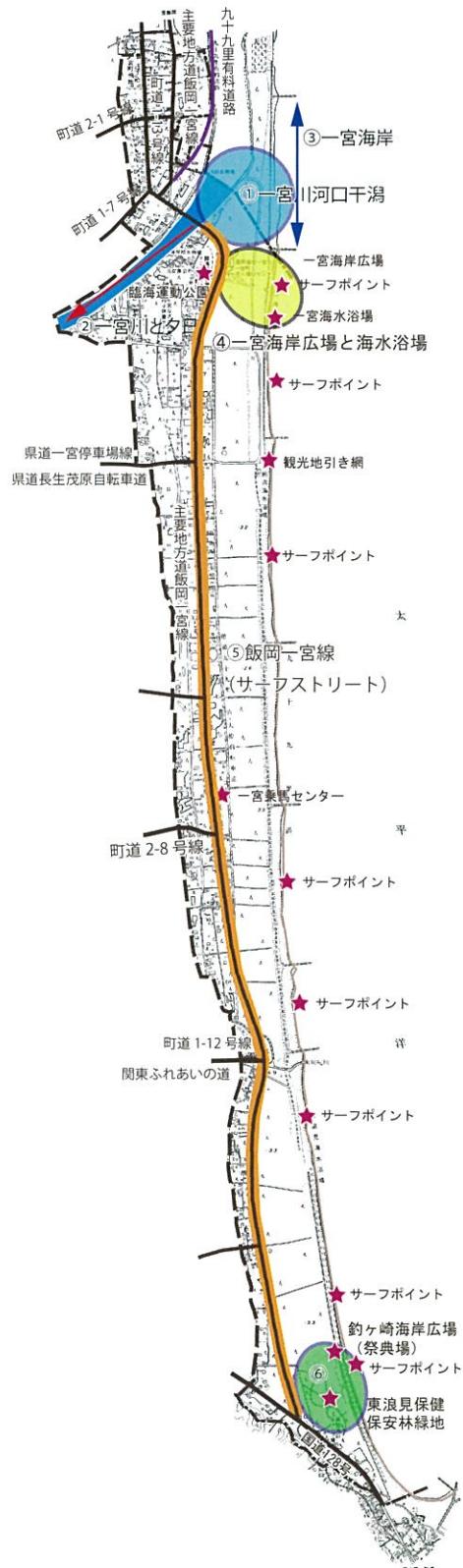
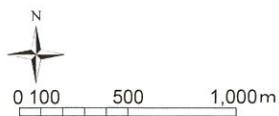
海岸地域

画面番号	名称	選定理由等
①	一宮川河口干潟	・流木や川上から流れてきたゴミがあるのが欠点ですが、日本の重要湿地にも選ばれています。色々な野鳥が集まっています。 ・S U P（スタンド・アップ・パドルボード）で遊んでいる人がみられるが、野鳥が来るとかわいそうだ。（自然環境との兼ね合いが大事だ。）
②	一宮川の川面に映る夕日（冬季）	・12月から2月頃の木枯らし（北風）が吹く寒い日で、午後3時頃から落陽にかけて、川面に映る夕陽は物凄くきれいです。（新一宮橋から中之橋にかけての両岸で見られますが、新一宮橋よりも非常にきれいです。）
	一宮川	・日の出もよい。川沿いはウォーキングにちょうどよい。マラソンもやってる。
③	一宮海岸（一号と二号離岸堤の間）	・砂浜の幅はそれほどありませんが、毎年ウミガメが上陸しています。ハマヒルガオもみられる。
	一宮海岸	・アオウミガメが産卵に上陸します。ハマヒルガオが咲き、ミュビシギが飛来してたり、海ではスナメリに会うこともある。自然の動植物に会え、学べる。
④	一宮海岸広場と海水浴場	・新しい観光スポットとして、これから楽しくなりそうな予感がする。イベントの開催や地元の特産品等の販売も行える特設会場の役割を果たせる、さらには外房の玄関口としての情報発信基地（FM局）の役割も期待できると思う。
	一宮海岸広場	・交通の便（有料道路からも近く）もほどよく、多目的広場として利用しやすく、定期的にイベント等楽しい中で、地域でキッズダンスやフラダンス等頑張っている方々の発表の場としても有効的。
⑤	飯岡一宮線（サーフストリート）	・サーフィン文化を中心としたサーフストリート。<観光地引き網、乗馬センター、サーフショップ、サーフポイント、飲食店等>「3倍楽しい田舎町」都心部の友人達に言わせると、この一言らしい。田舎ならではの風景と新しい文化のサーフィンが訪れる人を飽きさせないとのこと。他にも乗馬センターや地引き網、シーサイドオオツカホテル等のファミリー層も楽しめる場所も多い。ただ、電車サーファー達は、海への交通アクセスや付帯施設がよければ遊びに行く機会も増えるとの意見もあった。 ・渋滞がひどい。
⑥	釣ヶ崎海岸広場（祭典場）～東浪見保健保安林緑地（サーフポイント含む）	・釣ヶ崎海岸のキャンプ場はよかった。キャンプファイヤーもやっていた。 ・もったいない。（キャンプ場跡地の活用） ・日の出もよい
-	サーフィンのできる海	・サーフィンができるから、観光客が来る、移住者が来るから
	海岸全体	・ウミガメの産卵場所が何箇所かある ・地元ほど“海”を意識していない。海が資源という感覚がない。地元の人は海に行かない。 ・これ以上砂浜が減らないようにしてほしい。 ・以前砂浜が豊かな時には、浜辺でマラソン大会や歩け歩け大会、お祭りをやっていた。
その他意見		
		・運動公園があるのにサッカー場がない。宿泊施設がない。キャンプ場があれば、宿泊に使える。



日本最大規模の九十九里トライアスロン大会

海岸地域お宝等分布図



『地域別懇談会での地域別提案内容』

一宮地域

目 標		提案内容
都 市 の に ぎ わ い 拠 点 の 形 成	1	<ul style="list-style-type: none"> ・上総一ノ宮駅を中心とした半径1km圏内に特化したまちづくりの展開 ・国道128号を結ぶ県道南総一宮線の早期開通(茂原・いすみから商店街を迂回) ・茂原方面・海岸方面からの交通を国道128号宮原交差点から海側に誘導(茂原・いすみから商店街を迂回) ・駅東口改札の開設 ⇒課題としては、神門踏切の危険性緩和や駅東側地区の人口増加に伴う利便性向上、観光面での利便性向上 ・商店街や駅周辺の車のスピード「30km/h条例作成」 ・商店街に「さすがの一宮」の常設や「お祭り広場」として観光をアピール ・商店街の活性化と玉前神社を中心とした街作り。 ・国道128号沿道商店街の魅力向上 ・大型ショッピングセンターの撤退がみられ、買物難民の発生する恐れがある。 ⇒中心市街地の商業施設の復活・充実を早急に進める必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街近隣にホテルと駐車場確保(町内在住者が人を呼ぶ時などでも利用) ・一宮小学校を一宮商業高校へ移転し、跡地へ宿泊施設と有料駐車場建設 ・近隣に出来る大学生を呼び込む工夫(1,000名弱在学あり、店舗を学生が運営等々) ・SOHO(Small Office/Home Office: 会社と自宅や郊外の小さな事務所をコンピュータネットワークで結んで、仕事場にしたもの。あるいは、コンピュータネットワークを活用して自宅や小さな事務所で事業を起こすこと。)への対応 ⇒空き家の活用 ・おしゃべりのできる場づくり(喫茶店・休憩所)
		<ul style="list-style-type: none"> ・広域道路の整備促進 ・税収を上げる ⇒住民増、観光振興、農業振興。 ・働く場所を増やす ・農業を中心・活用した町づくり ⇒農地の集積と有効活用 →現在農地は区画が狭く、農業者にとっても発展が難しい状況。再度将来を見据えた大規模な区画整理が必要。新しい農業の形として観光と農業と商業のコラボレーションを創造。 ・農業改革 ⇒個々から協働へ ・町営の体験農場や町民参加の町営農場 ・朝市などにより、農産物を活かした振興 ・空き店舗の活用等による町全体に直売場が分布したまちづくり ・サーフィンとの連携。駐車場や脱衣場などの設置によるサーファーの活動を支えるサービス ・觀光振興。東京からは、玉前神社では来ないが、サーフィンなら来る ・駅から一宮川へ水路の設置(新しいルート) ・玉前神社、その他町をアピールする印刷物(地図・ガイドブック・ポスターなど)を作る ・レイラインの強調 ・上総一ノ宮駅を中心とした半径1km圏内における空き家を活用し、30代、40代の働き盛りの家族を中心に体験居住により住みよさを認識してもらい定住(移住)促進を図る。 ・町のPR不足 ⇒もっと東京(品川)まで通勤可能をアピール。リゾート地だが住めるとPRしたい。 ・東京・千葉からの移住のしきりづくり ・利便性があるので移住する人は多いが、家を建てるにはいすみ市だったり、家族が減ると町外の家族の元へ行ったり。
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別
		<ul style="list-style-type: none"> ・子供のための公園の充実(昔フィールドアスレチックがあり結構良かった。町営のスケボーパークとか。) ・創作の里奥土地に(里山理想公園)の整備をボランティアで行う。 ・大人から子供までの美化活動による町の清掃 ・「ゴミの無い街」を掲げ中高生・ボランティアの定期的町内清掃。 ・住まい・介護・子育て・観光など意識の同じ人達の意見をまとめて実現へ ・災害に備えた訓練 ・向三軒両隣復活 ・高齢化社会への対応 ⇒実現化が大切 ⇒健康・コミュニティの促進の場 ・介護問題。平均寿命と健康寿命との差 ⇒高齢者の会話と散歩の促進 ・子育て環境の充実 ・子供の教育 ・新たに魅力ある町営中・高校を作り、数年後町を盛り上げる人材をつくる
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅から海への道路の整備(もう少し幅を広げる) ・上総一ノ宮駅より玉前神社の道を参道に指定し、プロジェクトチームを作り、10年後を目標として整備を実施 ・ロードパーク構想(ロマンロード)の具体化 ・歩行者中心の町づくり ・歩いてできる観光 ⇒ハイキングコースの整備(湧水の活用等) ・徒歩による周回の通路の整備。 ・小学校庭を横切る振武館に通ずるトンネルで周回性歩道を確保。 ・里山など周回性の出来る魅力ある歩道の確保(トイレ設置) ・九十九里海岸と一宮川の魅力づくり ・魅力ある里山の豊かな街づくり ・現在ある文化財や自然の早期洗い出しと選別

東浪見地域

目標		提案内容
1 区中地 成の心区 形地の	・保育所等子育て施設や商業施設等ソフト面を充実して、定住する人を増やす。 ・一宮町は通勤に便利で、自然が豊かであるということのPRとともに、託児所等を作つて女性が働きやすい環境づくりを進め、人・住宅を増やす。(町全体)	
2 元地 氣な 資源を 開 まちづ くかし りの 展	・計画道路の整備(都心部とのアクセス)の将来を見据える推進 ⇒農業産業の将来へも左右する。 ・税収アップする仕掛け ・農業は後継者不足。⇒20代で就労している人はいない。農業組合法人化での取り組み必要。 ・お宝として、遍照寺をあげたが、東浪見寺には県指定の文化財・天然記念物等があり共にお宝。 ・志田下の呼び名で通っている釣ヶ崎海岸は、日本有数のサーフポイントになっている上、十二社祭り(1200年の歴史あり)での祭典場ですので、アピールすべきではないかと思います。 ・地域のお宝として、「神の道」をもっとPRしたい。(沿道にしきけを設け、地域振興に結びつける。) ・大人から子どもまで"お祭り"に参加する。お祭りを上手に活用する。(子どもを含めてやらないと将来に繋がっていない。)	
3 持 環 すく全 ・境 改の 地 善 域 地 他	・新旧住民間の交流がない。新旧住民が一体化、協働したまちづくりができるていない。 ・海を目的に訪れる人達と地元住民との交流 ⇒地域振興へ ・農地の使い方 ⇒(分家)住宅用地として使えば人口流出が防げる。 ・サーファーの移住と新旧住民の協力 ・海・山との共生・保存(資源としては、海である。山は保全していく。) ・「海と山に囲まれ、心豊かに育む地域」(田園地域というのは、ネガティブなイメージがある気がします。若い世代にうけるギャッティコピーが必要だと思います。東浪見には海というキーワードがかかせないと思います。) ・東浪見だけだと対応が難しいが、町全体のことを考えないといけない。 ・上総一ノ宮駅周辺の駐車場を活かしたまちづくりを進める。(町全体) ・鉄道の運行時間の延長 ・企業誘致 ⇒海を埋め立てる(町全体)	

海岸地域

目標		提案内容
1 の地 利 開 しふ いさ 用 土 わに	・単なるリゾート地でなく、定住型リゾート地への転換(良いところ ⇒「隣組」と「交通」) ・一宮海岸の砂浜の状態が悪い(砂浜の浸食が止めきれていないことを踏まえて対策を。) ・ヘッドランドの内側の砂が付いている所を海水浴場にするなど発展的な考え方があつてよい。	
2 賦 形 成 と 魅 力 あ る 拠 一 点 化 区 の	・「一宮海岸広場」と「海水浴場」 ⇒本年末から広場の整備が始まつて、海水浴場(海の家等)と海岸広場との融合、「海水浴広場」と一宮町全体を観光拠点とし、外房の情報発信基地としての役割を果たせる場所にする。 ・観光PR不足。情報発信力が弱い。(資源はたくさんあるのに) ・旧キャンプ場跡地 ⇒町の管理下にして、有効に使ってほしい。将来的に有望な資源であり、アダプトプログラム(市民と行政が協働で進める清掃活動をベースとしたまち美化プログラム)等の活用により、地域の人々と協働で管理する方法がある。憩いの森等をモデルケースとして進めることも考えられる。 ・路上駐車・無断駐車がサイクリングロードに多い。 ・サーフストリート ⇒古い文化と新しい文化の融合。第二の商店街とも言える。サーフストリートに9月13日の玉前神社の神輿のルートに加える。古い文化への理解と参加への導き ・はだか祭りで有名なのは大原だ。(大原は神事でない。一宮は神事でありやれることは限られている。)町と玉前神社の連携が悪い。 ・商業施設(商業地)への交通の便が悪い。(公共交通の充実)	
3 安 全 で 維 持 ・ 快 適 な 改 善 地 環 境 の	・新・旧住民の交流が少ない。(見えない垣根をどうにかしたい。) ・ご近所とのコミュニティの形成 ・一宮川土手の草が伸び放題。県の補助金削減とボランティアの経験不足できれいに草刈りができるない。何とかして草刈ってきれいにしたい。 ・一宮川の土手に、ゴミの不法投棄が増えている。 ・一宮川の水質浄化(上流都市との協働)(昔はシジミやエビが獲れ、川底が見えた)トライアスロンの会場となっているが、泳げる状態になつてない。泳げる川にしたい。 ・海岸部は、ゴミの拾われている所とそうでない所がある。拾われている所は、イベントが行われた所だ。釣ヶ崎の所はひどい。何かいい方法はないか。 ・海岸清掃、ゴミ拾い ・世代間交流と、子どもに対して海・自然に親しむ、地域を大切に思う気持ちを育てるような環境教育がしたい。⇒子供会の意義・重要性を再認識している。海を通じた繋がりを育む	